

学校だより

令和5年1月6日

磐田市立南部中学校

みどりの子ら 校訓:自立 創造 奉仕



【学校教育目標】 自ら学び 共に生きる たくましい生徒

文責: 金原

『徳川家康の名言から学ぶ』 ～始業式 校長式辞～

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお祈りします。皆さんが元気に新年を迎え、3学期がスタートできることを嬉しく思います。この新しい1年が、皆さん一人一人にとって素晴らしい1年となることを祈ります。

今日から始まる3学期ですが、登校日数は49日間と、1年で最も短い学期になります。そんな短い学期ですが、特に3年生にとっては、義務教育の最後のまとめと進路実現という、人生で大切な時間となると同時に、今の仲間と過ごす、本当に貴重な一日一日になります。また、1, 2年生においても、それぞれの学年を通しての集大成の学期であり、次の学年に進級するための準備期間でもあります。この3学期をどう過ごすか、一人一人がぜひ真剣に考えて、自ら主体的に行動していきましょう。

さて、皆さんはNHKテレビで日曜日の8時から放送されている大河ドラマを知っていますか、大河ドラマとは、歴史上の偉人を主人公にして描かれる長編ドラマのことで、ちなみに昨年は小栗旬さんが演ずる北条義時を主人公とした「鎌倉殿の13人」が、つい先日まで放送されていました。その大河ドラマですが、明後日の1月8日から新シリーズが始まります。タイトルは「どうする家康」で主人公の徳川家康を元嵐のメンバーの松本潤さんが演じます。

徳川家康は皆さんもよく知っている歴史上の人物ですね、1603年に征夷大將軍となり、江戸に幕府を開いた人です。この時家康は62歳だったのですが、実は家康は29歳から45歳までの16年間を浜松城で過ごしており、この磐田市にも徳川家康ゆかりの場所がいくつもあります。例えば、天下統一を目指す徳川軍と武田信玄率いる武田軍が戦った現在の豊田町にある一言坂や、家康が戦で命を落とした武将たちの冥福を祈り作った釣り鐘がある、見付の宣光寺などです。この「どうする家康」のストーリーの詳細についてはまだよく分かりませんが、その中にはきっと私たちが住んでいる遠州地区の浜松、磐田が舞台となる場面も登場するのではないかと思います。歴史に興味のある人も、あまり興味がないという人も、今年の大河ドラマ「どうする家康」を見てみたらどうでしょうか。教科書とは違った歴史の勉強ができるかもしれません。

その徳川家康が残した名言の中に「勝つ事ばかり知りて負くる事を知らざれば害その身に至る」というものがあります。この言葉の解釈は様々あると思いますが、私は、「勝つことばかり知って、負けを知らないことは危険である。負けた時や失敗した時こそ、そこから多くのことを学び、その後のより大きな成果に繋げていくことができる」ということだと考えます。実際に家康も現在の浜松市の三方ヶ原の戦いで武田信玄に敗れてしまいましたが、後の戦いではこの武田軍の戦い方を取り込みながら戦い、江戸幕府の誕生に繋がりました。

3学期、自分自身の夢や目標の実現の過程で、失敗したり思い通りにいかなかったりすることもあるかもしれませんが、いや、そういう時の方が多いかもかもしれません。そのような時も、家康のこの言葉のように、負けや、失敗も今後の自分にとっては必要なことであると信じて、前向きに頑張っていきましょう。先生方もそんな皆さんを全力で支え応援していきます。

南部中 HP、90 万アクセス突破！

今年度の目標としていた「南部中 HP 90 万アクセス」を12月末で達成しました！！やったー！！！！！！！！

4月1日は「541,935」だったので、この9か月で約36万回もHPを観ていただいたことになります。

もっと遡ると、1年前の12月28日は「455,601」だったので、1年間でほぼ倍増！！素直に嬉しいのと同時に、それだけ多くの方々が南部中に注目してくれているのだと、改めて気が引き締まる思いです。

これからも生徒の様子を中心に、南部中の様々な情報を発信していきたいと思います。



初日の出

新年、明けましておめでとうございます。

今年もこの太陽のように「一人ひとりが輝く南部中」を創っていきます。



「小さいことを積み重ねる事が、

とんでもないところへ行くただひとつの道だと思っています。」

イチロー

今の南部中メンバーで過ごすことができるのは、残り3か月。

毎日やって来る一日一日を大切に。

それが積み重なって、一人ひとりの「輝き」に繋がっていきます。

